

現行計画の温室効果ガス排出量の算定方法とその課題について

- ・現行計画の推計方法については、マニュアルに沿ったものとなっていることや、過去からの推計結果の連続性を保つため、現行の推計方法を基本とします。
- ・現行計画の推計方法において、生じている課題については改善策を検討します。
- ・推計に用いる係数・指標などについては、実態を反映できるよう全体的に確認を行い、最新のものに更新します。

表 現行計画の温室効果ガス排出量の算定方法とその課題

ガス種	部門・分野		算定方法の種別	算定方法の概要	課題・検討事項	
エネルギー起源 CO ₂	産業部門	製造業	積上法	・市内電力使用量から製造業の使用量を推計し、排出係数を乗じて算定 ・主要企業燃料使用実績から市全体使用量を推計し、排出係数を乗じて算定	・聞き取り値が複数部門の合算値の場合、配分率の設定 ・その他燃料の推計に使用するカバー率の設定	
		建設業・鉱業 農林水産業	按分法	・県推計値から就業者数で按分して算定	・按分指標の選定	
		業務その他部門	積上法（電力・ガス）	・使用量実績値に排出係数を乗じて算定	・聞き取り値が複数部門の合算値の場合、配分率の設定	
	按分法（その他燃料）		・県推計値から延床面積で按分して算定	・按分指標の選定		
	家庭部門	積上法（電力・ガス）	・使用量実績値に排出係数を乗じて算定	・聞き取り値が複数部門の合算値の場合、配分率の設定		
		積上法（その他燃料）	・原単位により燃料使用量を推計し、排出係数を乗じて算定	・原単位の選定		
	運輸部門	自動車（貨物）	積上法	・自動車 1 台当りの走行距離を推計し、保有台数、排出係数を乗じて算定	・排出係数、トリップ数の検討/新たな手法の検討 （現行手法は係数が 2005 年以降変更されていない）	
		自動車（旅客）	積上法			
		自動車（バス）	積上法	・市バスの燃料使用量に排出係数を乗じて算定	・路線バス実績値の継続入手	
		鉄道	按分法	・鉄道会社の燃料消費総量を全営業距離に占める市内営業距離で按分して算定	・電力使用量等の設定（鉄道統計年鑑）	
		船舶	推計の対象とせず			
エネルギー転換部門		積上法	・燃料使用量推計値に排出係数を乗じて算定	・所内率（発電所内の使用量）の設定		
エネルギー起源 CO ₂ 以外のガス	燃料の燃焼分野	燃料の燃焼	積上法（製造業） 按分法（製造業以外）	・主要企業燃料使用実績から市全体使用量を推計し、排出係数を乗じて算定	・配分率の設定 ・カバー率の設定	
			積上法（都市ガス） 按分法（その他燃料）	・販売量実績に排出係数等を乗じて算定 ・県推計値から延床面積で按分して算定	・配分率の設定	
			積上法	・販売量実績に排出係数等を乗じて算定 ・その他燃料は原単位、世帯数から使用量を推計し、排出係数を乗じて算定	・配分率の設定	
		自動車走行	積上法	・自動車 1 台当りの走行距離を推計し、保有台数、排出係数を乗じて算定	・排出係数、トリップ数の検討/新たな手法の検討 （現行手法は係数が 2005 年以降変更されていない）	
	工業プロセス分野		推計の対象とせず			
	農業分野	耕作	推計の対象とせず			
		畜産	推計の対象とせず			
		農業廃棄物	推計の対象とせず			
	廃棄物分野	焼却処分	積上法	・焼却ごみ量と排プラ含有率からプラスチック焼却量を推計し、排出係数を乗じて算定	・排出係数の設定	
		埋立処分	推計の対象とせず			
		排水処理	積上法	・下水処理量に排出係数を乗じて算定	・排出係数の設定	
原燃料使用等		推計の対象とせず				
代替フロン等 4 ガス分野		推計の対象とせず				